

日本遺伝学会第84回大会 NBRPワークショップ「九州ブランドのバイオリソース」

日時：2012年9月26日(水) 15:45～17:45
会場：日本遺伝学会第84回大会 ワークショップ会場 [WS15]
(九州大学医学部百年講堂 1階中ホール3、福岡市)
主催：日本遺伝学会第84回大会
(大会委員長 中別府 雄作(九州大学 生体防御医学研究所))
共催：NBRP広報企画ワーキンググループ

熊丸敏博(イネ分担機関)、仁田坂英二(アサガオ代表機関)両課題管理者が世話人となり、「NBRPワークショップ：九州ブランドのバイオリソース」を開催した。

講演者は九州エリアでNBRPに参画している5つのバイオリソース(イネ、ミヤコグサ、ダイズ、カイコ、アサガオ)の各課題管理者の先生方である。講演内容はリソースの整備状況、それぞれのリソースの特性や多様性を生かした研究の話題が中心であった。各リソース機関が保有する多様で有益なバイオリソースに関する情報が提供され、参加者(約30名)には有意義な機会となった。活発な質疑応答も行われた。



ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)ワークショップ

九州ブランドのバイオリソース

日本遺伝学会第84回大会

◆日時 2012年9月26日(水) 15:45～17:45

◆会場 九州大学医学部百年講堂 中ホール3 (D会場)

九州では温暖な気候を活かした多様なバイオリソースが保存されている。また、震災以降リソースのバックアップ体制の整備が急がれており、首都圏から遠く離れた九州でバックアップされているリソースも増えている。このワークショップでは、九州で整備されているバイオリソースを中心として、リソース整備の状況とそれらの特性を生かした研究について話題を提供する。

◆ワークショップ

◆オーガナイザー・座長 熊丸 敏博 (九州大学大学院農学研究院)
仁田坂 英二 (九州大学大学院理学研究院)

- 多様な高品質イネバイオリソースの整備に向けて
熊丸 敏博、安井 秀、吉村 淳 (九州大学大学院農学研究院)
- モデルマメ科植物「ミヤコグサ」の国内野生系統における外部形態の
地理的変異と分子マーカーによる遺伝的構造解析
橋口 正嗣、田中 秀典、明石 良 (宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)
- ダイズ突然変異体リソースの開発と利用
穴井 豊昭 (佐賀大学農学部)
- 実験動物としてのカイコの魅力と取扱いについて
藤井 告、伴野 豊 (九州大学大学院農学研究院)
- ゲノム配列情報を利用したアサガオバイオリソースの高度化
仁田坂 英二¹、星野 敦²
(¹九州大学大学院理学研究院、²自然科学研究機構基礎生物学研究所)



■主催：日本遺伝学会 ■共催：NBRP広報企画ワーキンググループ

◆NBRPワークショップ プログラム

「九州ブランドのバイオリソース」

オーガナイザー・座長

熊丸 敏博(九州大学大学院農学研究院)

仁田坂 英二(九州大学大学院理学研究院)



15:45～ NBRP「イネ」

「多様な高品質イネバイオリソースの整備に向けて」

○熊丸 敏博, 安井 秀, 吉村 淳

(九州大学大学院農学研究院)



16:05～ NBRP「ミヤコグサ」

「モデルマメ科植物「ミヤコグサ」の国内野生系統における外部形態の
地理的変異と分子マーカーによる遺伝的構造解析」

橋口 正嗣, 田中 秀典, ○明石 良

(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)



16:25～ NBRP「ダイズ」

「ダイズ突然変異体リソースの開発と利用」

○穴井 豊昭

(佐賀大学農学部)



16:45～ NBRP「カイコ」

「実験動物としてのカイコの魅力と取扱いについて」

○藤井 告, 伴野 豊

(九州大学大学院農学研究院)



17:05～ NBRP「アサガオ」

「ゲノム配列情報を利用したアサガオバイオリソースの高度化」

○仁田坂 英二¹, 星野 敦²

(¹九州大学大学院理学研究院, ²自然科学研究機構基礎生物学研究所)

